



TITLE:

大学院学生(昭和63年度) 研修員(昭和63年度) 日本学術振興会特別研究員 所内談話会記録(I 研究所の概要)

AUTHOR(S):

CITATION:

大学院学生(昭和63年度) 研修員(昭和63年度) 日本学術振興会特別研究員 所内談話会記録(I 研究所の概要). 霊長類研究所年報 1989, 19: 33-35

ISSUE DATE:

1989-09-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/163944>

RIGHT:

大学 院 学 生 (昭和63年度)

動物学専攻霊長類学学科

氏 名	学年	指導教官	研究テーマ
三谷雅純	D 6	杉山幸丸	西アフリカにおける樹上性霊長類の生態学的及びコミュニケーション論的研究
広谷 彰	D 6	杉山幸丸	トナカイ牧畜民の研究
大井 徹	D 5	加納隆至	スマトラのブタオザルの社会生態学的研究
村山裕一	D 4	竹中 修	ニホンザルリンパ球に対するモノクローナル抗体の作製及び霊長類の免疫学的特性の解析
Solomon Yirga	D 4	江原昭善	狭鼻猿類の下肢諸骨の機能形態とロコモーションについて

霊長類学専攻

氏 名	学年	指導教官	研究テーマ
板倉昭二	D 3	室伏靖子	類人猿の社会的概念に関する実験的研究
五百部裕	D 3	加納隆至	ビグミーチンパンジーのオスの社会学的研究
中川尚史	D 3	杉山幸丸	パタスモンキーの採食生態学的研究
佐倉 統	D 2	杉山幸丸	チンパンジーの音声コミュニケーション、性行動、社会行動などに関する行動生態学的研究
伏見貴夫	D 2	室伏靖子	霊長類のコミュニケーションに関する実験的研究
室山泰之	D 2	杉山幸丸	チンパンジーの社会生態学的研究
大石高生	D 1	久保田競	前頭葉の機能と伝達物質の関係について
小林秀司	D 1	江原昭善	ティティ属 (Genus Callicebus) 3 種の

系統関係

高井正成	D 1	江原昭善	南米コロンビアのLa Venta 地域産出の霊長類を含む中新生化石哺乳類について
山下晶子	D 1	大島 清	神経系の個体発生
井上美穂	M 2	竹中 修	DNA多型を用いたニホンザルの父子判定
小林 隆	M 2	加納隆至	都井岬の半野生馬の社会生態学的研究
鈴木良太	M 2	竹中 修	分子進化によるテナガザルの系統解析
中村克樹	M 2	久保田競	情動や記憶における扁桃核のはたらき
Soumah Aly Gaspard	M 2	杉山幸丸	高崎山におけるニホンザルの社会的地位と採食戦略
河本敏男	M 1	久保田競	頭頂連合野の入出力関係の研究
松村秀一	M 1	加納隆至	ニホンザルオス間の社会的相互作用
橋本千絵	M 1	加納隆至	野生ニホンザルの採食戦略
宮地剛士	M 1	久保田競	前頭前野における視覚性刺激のはたらき

研 修 員 (昭和63年度)

氏 名	指導教官	研修 題 目	研修期間
芝原総子	杉山幸丸	ニホンザルにおける性行動と繁殖成功度との関係	63. 4. 1 元. 3.31
大野央人	室伏靖子	霊長類のコミュニケーションに関する心理学的研究	63. 4. 1 元. 3.31
西川貴士	大島 清	霊長類の生殖生理に関する比較内分泌学的研究	63. 5. 1 元. 4.30
李 葆明	久保田競	サルの前頭葉の神経細胞活動と行動の関係	63. 6. 4 元. 6. 3

竹中晃子	竹中 修	マカカ属グロビン遺伝子と遺伝子重複	63. 8. 1 元. 7.31
瀬戸口 美恵子	加納隆至	小哺乳類（特にタイワンリス）の社会生態学的研究	63. 8. 1 元. 7.31
広谷 彰	杉山幸丸	大型哺乳類の社会生態学及びヒトとの関わりに関する研究	63.11.25 元. 4.24
後藤 啓	中村 伸	霊長類の血液凝固機構に関する研究	元. 3. 1 元. 3.31
古市剛史	加納隆至	霊長類の集団間移籍個体の生活史—「母系」社会と「父系」社会の比較研究—	元. 3.26 元. 3.31

日本学術振興会特別研究員

吉久保 真一	室伏靖子	マカク属における、種の認知行動と進化の機構に関する実験心理学的研究	63. 4. 1 2. 3.31
村山裕一	竹中 修	ニホンザル白血球に対するモノクローナル抗体	63. 5.24 元. 3.31
三谷雅純	杉山幸丸	カメルーン熱帯雨林における樹上性霊長類の生態学的研究	63.11.25 2. 3.31
大井 徹	加納隆至	マカク属における、メスの発情の季節性が社会関係に与える影響	元. 3.24 2. 3.31

所内談話会記録

第1回：昭和63年5月12日

松沢哲郎（京大・霊長研）「アフリカ調査報告：ボソウの野生チンパンジー」

第2回：昭和63年6月23日

森 明雄（京大・霊長研）「カメルーン国の熱帯多雨林におけるハネ異狒について」

第3回：昭和63年7月14日

林 基治（京大・霊長研）「サル中枢神経系において神経活性物質はどのように発生し発達するか」

第4回：昭和63年9月22日

和田一雄（京大・霊長研）「中国の霊長類の現状」

第5回：昭和63年10月20日

ハルトムート・ローテ博士（ゲッティンゲン大学理学部・京大客員教授）「Inter-individual distances in common marmosets: a method to investigate social relationships」

第6回：昭和63年11月17日

毛利俊雄（京大・霊長研）「ラテンアメリカ雑感」

第7回：昭和63年12月22日

瀬戸口烈司（京大・霊長研）「新発見のサル化石について」

第8回：平成元年1月19日

加納隆至（京大・霊長研）「ザイール・ワンバにおけるピグミーチンパンジー調査の現状」

第9回：平成元年2月9日

熊 成培（中国・合肥市逍遙津動物園園長）「中国の哺乳類の現状」

（談話会係：江原昭善・藤田和生・加納隆至）

公開講座 「霊長類の進化—サルとヒトと—」が昭和63年8月25日（木）・26日（金）の両日、本研究所にて開催された。参加者は約80名で、講師および講演・実習の内容は次の通りであった。

プログラム

- 1 性分化および性行動の進化
野崎真澄（京大・霊長研）
- 2 表象能力の進化
藤田和生（京大・霊長研）
- 3 社会進化と家族の出現
大沢秀行（京大・霊長研）
- 4 変動する人類起源論
江原昭善（京大・霊長研）
- 5 飼育実習・野外観察実習
大沢秀行・松林清明（京大・霊長研）

毎回参加者からアンケートをとっており、各講義が霊長類の進化研究のなかで、どのような位置づけにあるのか理解が困難であるという意見が多数出された。それをふまえて、今回は江原が各講義の簡単なオリエンテーションを行った。

また、参加者の大部分が毎回同じ顔ぶれであるところから、今回は解剖実習・骨学実習の代わりに飼育実習・野外観察実習を行った。アンケートにも見られるように、好評だったようである。

学位取得者と論文題目

理学博士（課程）（動物学専攻）

広谷 彰：Sociological study of reindeer (*Rangifer tarandus*) in northeastern Finnish Lapland. (北東フィンランドにおけるトナカイの社会学的研究) 1988年11月24日取得。

三谷雅純：Frugivorous primates and their food resource in tropical rain forest: adaptation for optimal foraging. (熱帯雨林の果実食性霊長類とその餌資源：最適採食のための適応) 1988年11月24日取得。

ソロモン＝イリガ (Solomon Yirga)：Metrical analysis of the mechanical relationships between the hind limb bones and the major locomotor patterns in anthropoidea. (現生真猿類の下肢構成諸骨の形態とロコモーションパターンの間の関連性についての数量解析的研究) 1989年3月23日取得。

大井 徹：Socio-ecological study of wild pig-tailed macaques (*Macaca nemestrina nemestrina*) in west Sumatra, Indonesia. (インドネシア、西スマトラにおける野生ブタオザルの社会生態学的研究) 1989年3月23日取得。

吉久保真一：Species discrimination and classification according to the concept “Rhesus macaque” by rhesus macaques (*Macaca mulatta*). (アカゲザルの、「マカゲザル」概念による種の弁別と分類行動) 1989年3月23日取得。

理学博士（課程）（霊長類学専攻）

中川尚史：Feeding strategies of Japanese monkeys. (ニホンザルの採食戦略) 1989年3月23日取得。

理学博士（論文）（霊長類学専攻）

松沢哲郎：Hierarchy of visual perception in a chimpanzee (*Pan troglodytes*). (チンパンジーの視知覚の階層) 1989年1月23日

理学修士（霊長類学専攻）

井上美穂：Paternity discrimination of a Japanese monkey troop by DNA finger printing. (DNAの多型を用いたニホンザルの父子判定)。

鈴木亮太：Molecular phylogeny of the gibbons. Restriction map analysis of α -globin gene family. (α 様グロビン遺伝子から見たテナガザル属の系統)。

アリ＝ガスパール＝スマ：The diet composition of Japanese monkeys in relation to their social status. (社会的地位との関係におけるニホンザルの採食戦略)。

中村克樹：Neuronal activities in the amygdala of rhesus monkey during a visual recognition and memory task. (視覚性の認知や記憶に関連したアカゲザル扁桃核ニューロン活動)。